

道内7会場で「健康相談会」 相談者は合計55人

アスベスト 39件/じん肺4件/振動障害9件/建退共4件など

3月に、道内7会場（苫小牧市・夕張市・美幌町・千歳市・富良野市・旭川市・名寄市）で「健康相談会」（建退共・職業病相談会）が開かれました。なお、道本部労災職業病部会として苫小牧市・夕張市・由仁町・栗山町・千歳市・恵庭市に15万枚のチラシを新聞折り込みしました。

苫小牧市 道本部労災職業病部会（札幌労災支部・函館支部）の援助で3月20日に苫小牧市で開いた「健康相談会」では13人（会場10人+電話3人）からの相談を受けました。相談内容はアスベスト9件（うち遺族補償1件）、じん肺2件、振動障害2件、難聴2件、その他1件（公務災害）です。なお、受診などを予定しているのがアスベスト5件、振動障害1件となりました。

夕張市 3月21日に道本部労災職業病部会が援助しておこなった「労災職業病相談会」には3人（うち1人は由仁町から参加）の相談者があり、アスベスト2件、じん肺1件、振動障害1件、難聴1件の相談でした。このうち1件は振動障害で受診を予定しています。

美幌町 3月22日の美幌町での「労災職業病・建退共相談会」は道本部と労災職業病部会が援助して開かれました。相談者は12人（会場8人+電話4人）で、相談内容はアスベスト8件（うち遺族補償が2件）、振動障害2件、騒音性難聴3件、その他1件と建退共が3件でした。なお、アスベストで受診を希望している人が2人います。また、事後にも美幌のチラシを札幌の兄弟へ紹介するなどの反響がありました。

千歳市 3月23日には札幌労災支部が、地元の北星病院に協力してもらって千歳市で「労災職業病相談会」をおこないました。相談者は11人（会場9人/うち1人は栗山町から参加）+電話2人で、相談内容はアスベスト9件（うち遺族補償1件）、振動障害2件、難聴3件、その他1件で、受診などを予定しているのがアスベスト4件、振動障害2件となりました。

富良野市・旭川市・名寄市 旭川支部は3月16日に富良野市で、3月23日に旭川市で、3月30日には名寄市で「建退共・職業病相談会」を開き、合わせて16人（会場12人+事務所2人+電話2人）からの相談を受けました。相談内容は、アスベスト11件、じん肺1件、振動障害2件、難聴4件、建退共1件などで、このうち3人がアスベストの受診を希望しています。

青少年女性活動協会から回答文書 処遇改善助成金の活用は次回契約時にむけて

札幌学童保育支部が2月14日に提出した「児童会館の運営に関する要求書」に対する回答文書が「公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会」から3月6日に寄せられました。国が2024年に創設した「常勤複数配置した場合」の助成金の活用についての回答で協会は「令和5年度から5年間の指定管理業務として札幌市から指定を受け、業務仕様書及び基準管理費用について令和9年度まで決定しており、新たな契約期間にむけて処遇改善に関わる補助の積極的な活用について継続的に働きかけたい」としています。